



# なないろ

## 『支えがあってこそ！』

(幸せをめざして PART 29)

所長 小野 真

令和4年度がスタートしました。利用者の皆さんは、新たな気持ちで出勤して来ました。

さて、北京五輪スノーボード男子ハーフパイプで五輪史上初の超大技「トリプルコーク 1440」を決めて金メダルを獲得した村上市出身の『平野歩夢 (あゆむ)』選手が日本中を熱狂させただけでなく、その余韻が感じられます。15歳の時にソチ五輪に出場し、スノーボード競技で日本人初となる銀メダルに輝き最年少メダル保持者としてギネス記録に認定されてきました。平昌五輪でも2大会連続となる銀メダルを獲得しました。

平野選手は、4歳から山形県小国町の片道約50分かかる「横根スキー場」に通って練習を続けていたということです。そこで、高さ6メートルを超える最大の武器のエア（空中技）を完成させ磨きをかけてきたのです。平野選手には良き相談相手があります。横根スキー場でコース整備を担当している『高橋恒行』さんという人です。

高橋さんは、日々のコース整備には、平野選手の意見を取り入れて行ったそうです。特にパイプの端の「リップ」と呼ばれる部分の角度は、1度でも違わないように気を使い、夜遅くまで整備したということです。ソチ五輪の2年前にはジャンプの練習のため「クォーター」と呼ばれる約5メートルの雪壁も作りました。そこで完成させたのが、平野選手の得意技「ダブルコーク 1080」という大技だそうです。

北京冬季パラリンピックでは、5大会連続の出場となった新発田市役所に勤務している『出来島桃子』選手は、男女混合リレーで7位入賞しました。出来島選手は、大学1年の頃突然右手にしびれを感じるようになり、診断の結果手術しなければならなくなりました。手術のあと右手を自由に動かす事ができなくなったのです。右腕に障害があるために、片手でストックを持って滑ります。

初心者だった出来島選手にクロスカントリースキーの技術のいろはを一つ一つ丁寧に丁寧に教えてきて下さった方が元日本代表コーチの『横山久雄』さんだそうです。

平野選手も出来島選手もこれまで計り知れない努力を積み重ねて現在に至っているものと推察します。その陰にコースの整備をしてくれた高橋恒行さん、クロスカントリーのいろはを教えてくれた横山久雄さんをはじめ、家族、同僚、監督、コーチなど大勢の人に支えられて、オリンピック選手になることができたのだと確信しています。

虹の家の利用者の皆さんも、同僚、職員、地域の方々・に支えられて日々成長していることは間違いありません。「作業での間違いや失敗を解決できたこと」「仲間と協力して活動できたこと」「欲しいと思った物を我慢できたこと」「善悪の判断ができたこと」など様々な場面で大勢の人とかかわり合いながら取り組んでいます。そんな中で失敗や成功の体験を繰り返しながら確実に自立心や社会性を身に付けていきます。その際、一番の支えとなるのは、家庭、地域であり、保護者そして地域の皆様ではないでしょうか。

利用者の皆さんは、今年度の目標を決めて解決に向けて取り組んでいきます。まだまだ稚拙なところがあります。家庭では、様々な場面で褒めたり、手助けしたりしていただくことで一步一步前進していきます。これからも、利用者の幸せな生活のために親子の絆・家族の愛情そして、地域との共生を深めていただければと願っています。



# よろしくお願ひします。

。

🍀 塚野 智尋 (つかの ちひろ) 竹俣特別支援学校から

【新入利用者】

🍀 浅井 峡介 職業支援員 (あさい きょうすけ)

【新採用職員】

🍀 渡邊 剛健 職業支援員 (わたなべ ごうけん)



🍀 片野 三男 職業指導員 (かたの みつお) ハートワーク高浜 から

【新任職員】

🍀 田村 みゆき 職業指導員 (たむら みゆき) ふれ愛しうんじ から

🍀 中村 聡 生活支援員 (なかむら さとし) 紫雲寺中学校 から

🍀 佐藤 美子 職業指導員 (さとう よしこ) 中糸小学校 から

🍀 居城 明夫 職業指導員 (いじろ あきお) ハートワーク高浜へ異動

## 親任式、入所式、始業の会



令和3年度は、虹の家・グループホームへの  
苦情件数は、0件でした。